

活動報告レポート

ASKUL Kodomo Art Project

特定非営利活動法人 子供地球基金 2019年8月3日作成

アートワークショップ
「凧をつくる」
2019年4/14(日)
木山仮設団地 西集会所
午前の部 10:00~12:00・午後の部 13:00~15:00
対象：小学生まで
参加費無料
(先着1限：各20名)
子供地球基金アートを通して子どもたちの思いがけず子どもたちを笑顔にする
KIDS HELP OTHER KIDS, 心を開きあひまひま、笑顔・子供地球基金

絵を描くワークショップ
「わたしの熊本」
2019年4/12(金)
益城町児童館・参加費無料
時間：15:30~17:00
対象：小学生まで
子供地球基金はアートを通して子どもたちが国内外の子どもたちを笑顔にする
「KIDS HELPING KIDS」の活動をしています。
益城町児童館は、この活動を通して、子どもたちの思いがけず子どもたちを笑顔にする
益城町児童館は、この活動を通して、子どもたちの思いがけず子どもたちを笑顔にする
益城町児童館は、この活動を通して、子どもたちの思いがけず子どもたちを笑顔にする
益城町児童館は、この活動を通して、子どもたちの思いがけず子どもたちを笑顔にする

今年には熊本地震の発生から丁度3年を迎えます。節目となる4月14日という日に、被害の大きかった益城町を中心に子供たちのためにアートワークショップを行いました。

4/12(金)益城町児童館

4/13(土)熊本市内の児童養護施設2箇所

4/14(日)木山仮設団地西集会所

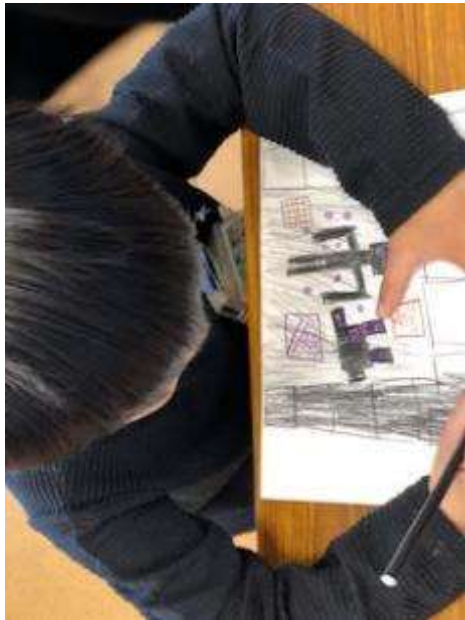
計4カ所を会場に「凧をつくる」「絵を描く」ワークショップを開催し、ボランティアスタッフが表現することの大切さを伝えました。

東日本大震災被災地支援

2019年2月21日 宮城県岩沼市 東児童館

代表の鳥居が角田市の子育て支援施設、岩沼市の児童センターでミーティング後、市内にある東児童館にて子供たちと絵を描くワークショップを行いました。
色鮮やかなスイス・カラダッシュ社の色鉛筆を手にして子供達は興奮気味。
作品に向かう表情も真剣そのものです。





熊本地震被災地支援

2019年4月12日 熊本県益城町 保健福祉センター内児童館

熊本県 益城町保健福祉センター内にある児童館で子どもたちと絵を描くワークショップを行いました。未就学児から小学生まで数多くの子どもが参加しました。

「わたしの熊本」をテーマにそれぞれが画用紙いっぱい絵の具で表現し、その当時の様子をお話してくれた子もいました。

益城町は震災から3年がたった現在も、仮設住宅での生活を余儀無くされている人が多く残っている、と地元の方がお話して下さりました。また町は、地盤の沈下の影響で出来た地割れや橋の復旧工事など現在も行われており、通行止めで通れない場所もあり、被災の爪痕は未だに残っています。



熊本地震被災地支援

2019年4月13日 熊本市内慈愛園子供ホーム、菊水学園

大きな布に全身を使って表現しました。皆元気に溢れた子どもたちで、それぞれが最初に描いた下書きが最後には消えてなくなる程でした。今回は2歳から高校生まで幅広く、多くの子に参加してもらいました。最後に「楽しかった!」と言って頂き、職員の方と共に本当に良い時間を子ども達と一緒に過ごせたと思います。



熊本地震被災地支援

2019年4月14日 益城町仮設団地

熊本県益城町仮設団地にて「凧をつくる」アートワークショップを開催しました。熊本復興に関する報道が今は少なくなっていますが、木山仮設団地では220世帯、テクノ仮設団地では約600世帯、まだ多くの方が現在も仮設住宅で暮らしているそうです。暮らしている人の多くは来年の3月に完成予定の復興住宅を待っている状況だと仮設団地で暮らしている町民の方がお話ししてくれました。

熊本地震の発生から3年という節目の時期を迎え、熊本県益城町木山の交流情報センターミナテラスに献花台が設置され、我々もワークショップの後に訪れ、犠牲者の方を追悼して手を合わせました。

子供地球基金は今後もアートを通し、子どもたちに新しい体験や表現することの大切さを伝えていきます。

